

2016年度日本医学シミュレーション学会優秀論文賞を受賞して

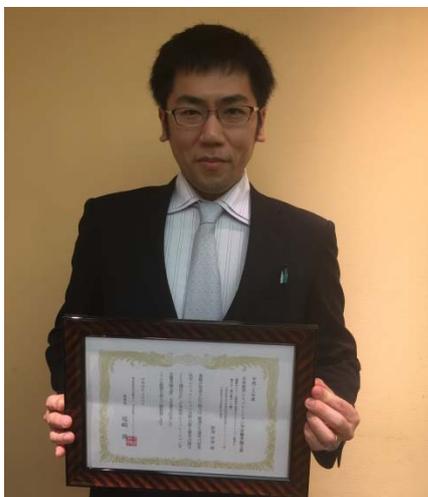
医療技能シミュレーション室副室長
麻酔科学教室教育主任 駒澤伸泰

2013年度に引き続き、2016年度の日本医学シミュレーション学会優秀論文賞を受賞しましたので報告致します。これは、国内で行われた医学シミュレーションに関する研究論文を表彰するものです。

今回は、2010年からの鎮静トレーニングコースの開発および継続的開催、教育工学的アプローチに関する一連の論文を認めていただき表彰いただきました。

シミュレーション教育を行う人は多いですが、教育工学的アプローチで教育評価を行う人は少ないのが現状です。しかし、教育効果を追及することが医学教育の質の担保につながることは自明であり今後もこのような研究を続けていきたいと思えます。

ご指導いただきました南敏明教授を始めとする皆様に心より御礼申し上げます。



受賞論文一覧

1、 **Effects of a simulation-based sedation training course on non-anesthesiologists' attitudes toward sedation and analgesia**

Nobuyasu Komasaawa, Shunsuke Fujiwara, Kazuaki Atagi, Ryusuke Ueki, Masanori Haba, Hironobu Ueshima, Yoshiroh Kaminoh, Toshiaki Minami

2、Significance of debriefing method the simulation-based sedation training course for medical safety improvement in Japan

Nobuyasu Komasa, Takuro Sanuki, Shunsuke Fujiwara, Masanori Haba, Ryusuke Ueki, Yoshiroh Kaminoh, Toshiaki Minami

SpringerPlus 2014;3:637

3、麻酔科が提供する鎮静管理の医療安全～SED 実践セミナーの臨床応用～

駒澤伸泰、安宅一晃、讃岐拓郎、羽場政法、上嶋浩順、南敏明

日本臨床麻酔学会誌 2016;36:334-338

4、米国麻酔学会「非麻酔科医のための鎮静・鎮痛薬投与に関する診療ガイドライン」の紹介

駒澤伸泰、上農喜朗

日本臨床麻酔学会誌 2014;34:252-258

5、各領域における鎮静の医療安全にセデーションレーニングコースが貢献するには

駒澤伸泰、藤原俊介、植木隆介、上嶋浩順、安宅一晃、上農喜朗

日本臨床麻酔学会誌 2014;34:281-285

6、非麻酔科医を対象とした SED 実践セミナー（セデーショントレーニングコース）の展開—学習目標の作成を含めて—

駒澤伸泰、安宅一晃、上嶋浩順、藤原俊介、植木隆介、羽場政法、上農喜朗

麻酔 2014 ; 63 : 582-585

7、初期臨床研修医に対する鎮静における医療安全に対する意識調査—侵襲的処置に対する鎮静トレーニングコースの意義—

駒澤伸泰、中川雅史、安宅一晃、植木隆介、山本憲康、上農喜朗

日本臨床麻酔学会誌 2012;32:582-587